



**山田美津代**  
議員

**中学校給食に関する町長発言は**

**問** 先日開かれたPTA研修会の講演会で「町長が給食の実現を目指す」と発言され、保護者間では、あんなところで言うぐらいだから実現するのではと期待が広がっている。どう実現する計画か。教育委員会との乖離はどう解決するのか。また、世論の高まりが強まっている今実現するのにどんな障害があり、解決する方法は。

**平岡町長** 中学校給食を目指すとの発言はしていない。多種多様な意見があり、時代のニーズを探りながら慎重に考える。教育委員会とは、双方で協議しながら、教育の充実を目指して、乖離などない。実現は子ども達の話も聞く。

**認定こども園計画について**

**問** こども園構想は、子ども・子育て新システムの基本的方向として、今の民主党政権が自民政権時代の

改悪の構想を押し進め、これまでの公的保育制度を根底から覆すもので、経費削減のために地域の幼稚園の建て替えをせず保育園と幼稚園をいっしょに保育する構想は子ども達の未来のために非常に危険、やめるべき。

**安田教育長** 認定こども園は従来の幼稚園・保育園よりも充実したもの、決して経費削減のためではない。子ども、保護者のニーズを見きわめ、専門的な方々による検討委員会を設置して結論を出していきたい。

**住民サービスの充実について**

**問** 町民が住民票や印鑑証明書などの書類をもらう手続きをするのにフルタイムで働いている人は半日休みなど取らないと手に入らず、サービスが悪いという声が寄せられている。住民サービス充実のため、土、日も手続きできる体制を確立してください。

**平岡町長** 都合により来庁できない方は郵便にて請求をしていただく。電算処理の共同化が開始される時期以降に新しい活用が可能となる。その準備として、自動交付機やコンビニにおける証明書交付など研究を深めているところです。



**窓の委員会**



◆**総務文教委員会**◆

広陵町企業立地の促進等に係る固定資産税の特例措置に関する条例の制定について

**問** この対象となっている企業に、3,000万円を寄附をお願いしていると聞いているが、この軽減措置とリンクしているのではないか。また、町内の中小企業の厳しい経済状況を把握しているのか。

**答** 企業との確認書に、町がすべきこと、業者が果たすべきことを掲げており、町がすべき支援ができなくなることで、どう判断されるかわからない。また、中小企業支援策を検討する。

**結果** 賛成者なしで否決すべきものと決しました。職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて

**結果** 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

広陵町奨学資金支給条例の一部を改正することについて

**問** 月額5,000円から月額3万円に減額されるのは。

**答** 授業料無償化されていることや、他の町ではほとんど実施されていない、また、予算減額を行わず、より門戸を広げより多くの方に利用いただくため。